



# 市立病院看護師 2度目の救命

川の中から女性を救助し心肺蘇生 6月8日に寝屋川警察で表彰

市立ひらかた病院（禁野本町 2-14-1）に勤務する看護師、具志堅美奈（ぐしけんみな・31 歳）が5月に寝屋川市内の自宅近くで心肺蘇生による人命救助を行い、6月8日（月）に寝屋川警察署で表彰を受ける。自宅の窓から前を流れる川に女性がいることを発見。川に入りレスキュー隊が駆け付けるまでの間、胸骨圧迫を実施。女性は一命を取り留めた。当該看護師は8年前にも淀屋橋駅の構内で心肺停止した男性を救助している。

- ★当該看護師は4月6日午後2時頃、自宅2階にいたところ、外から大きな声がしたことから窓を開けると、自宅の前を流れる川の中に人がいるのを発見。その周りを多くの人を取り囲んでいる状態だった。
- ★慌てて現場に駆け付けると、川の中に女性（大人・年齢不明）と警官1人がいた。警官は女性を抱えながらも動くことが難しい状態であったため、当該看護師は堤防の塀を乗り越え川の中へ。水深が膝ぐらいまでであることを確認し、女性のもとへ向かった。
- ★女性が心肺停止状態だったが塀が高く、2人でも女性の体を持ち上げることが困難だったため、堤防の法面部分まで移動。もたれかける状態にしてドンドンと片手で胸を強く叩いて胸骨圧迫を行った。胸骨圧迫はレスキュー隊が到着するまで続けた。
- ★後日、当該看護師に対し寝屋川警察署から、女性は一命をとりとめたこと、胸骨圧迫がなければ助からなかった可能性が非常に高かったことを伝えられた。当該職員は6月8日（月）に寝屋川警察署で表彰を受ける予定（時間は未定）。
- ★当該職員は平成23年から市立ひらかた病院に勤務。現在、救急外来を担当している。「職場の医師や先輩からの日頃の指導や、救急現場での多くの経験が咄嗟の行動につながった。一命を取り留めたことを聞いたときはホッとしました」と話した。
- ★当該職員は、8年前の平成24（2012）年にも淀屋橋駅の構内で心肺停止した男性に遭遇。心臓マッサージやAEDによる処置により男性の命を救っている。

<お問い合わせ先> 市立ひらかた病院総務課 ☎072-847-2821、ファクス 072-847-2825